

- 問1 地租改正の際、土地の所有者に発行され、所有権を証明するために使われた書類を何という？
- 問2 明治政府が1868年に政治の基本方針として発表したものを何という？
- 問3 1871年、明治政府が近代制度を学ぶために欧米へ派遣した使節団を何という？
- 問4 幕末から明治時代にかけて、『学問のすゝめ』を著して欧米の近代思想を日本に紹介した啓蒙思想家は誰？
- 問5 明治政府が廃藩置県を実施した年は何年？
- 問6 明治政府が掲げた、経済を発展させて軍隊を強化するという政策のスローガンを何という？
- 問7 大政奉還の直後、天皇を中心とする新政府の樹立を宣言した命令を何という？
- 問8 戊辰戦争の終盤に、五稜郭を拠点として新政府軍に最後まで抗戦した幕府側の軍隊を何という？
- 問9 明治政府が全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させた政策を断行した年は何年？
- 問10 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣して全国を直接統治した改革が行われたのは何年？
- 問11 新政府軍と旧幕府軍が激突した、明治維新の戦いの発端となる年は何年？
- 問12 明治政府が、欧米列強の植民地化を防ぎ、独立を維持するために掲げた国家政策を何という？
- 問13 県令とともに地方を直接統治する役割を担った、府を統治する役職を何という？
- 問14 五箇条の御誓文で掲げられた、広く会議を起こして多数決で政治を決めることを表す言葉は？
- 問15 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度を発布した年はいつ？
- 問16 明治政府が国民から兵士を確保するために発布した、満20歳以上の男子に兵役の義務を課した法令を何という？
- 問17 1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返したことを何という？
- 問18 地租改正などの重い税負担に苦しむ農民が、明治政府に対して起こした抵抗運動を何という？
- 問19 1867年、江戸幕府第15代将軍として政権を朝廷に返上した人物は誰？
- 問20 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ることを宣言した出来事を何という？
- 問21 近代的な工場や産業の現場で、専門的な技能を用いて生産や開発を指導した人を何という？

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|------------------------------|--|
| 問1 | 答え 地券 | 1873年の地租改正で、政府は土地所有者に地券を交付しました。これに基づき、地価の3%を現金で納税する仕組みとなりました。この制度は、税収を予測可能にする画期的なものでした。 |
| 問2 | 答え 五箇条の御誓文 | 1868年、明治政府が発表した「五箇条の御誓文」は、天皇が神々に誓う形式で示された政治の基本方針です。主な内容として、公論に基づく政治、知識を世界に求めること、旧来の悪習の廃止などが盛り込まれました。 |
| 問3 | 答え 岩倉使節団 | 1871年、岩倉具視を全権大使とし、大久保利通や伊藤博文らが参加しました。一行はアメリカを経てヨーロッパ各国を回り、工場や議会、教育制度などを視察しました。日本が近代化するために必要な多くの知識を持ち帰りました。 |
| 問4 | 答え 福沢諭吉 | 福沢諭吉は幕府の使節団として欧米を視察し、そこで学んだ近代的な考え方を日本に広めました。代表作『学問のすゝめ』では、身分にとらわれず、実学を学ぶことの重要性を説いています。また、慶應義塾を創設し、数多くの人材を育成しました。 |
| 問5 | 答え 1871年 | 明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。藩を完全に廃止し、中央政府が任命した府知事や県令が地域を治める体制へ移行しました。これにより、地方の力は中央へと集中されることになりました。 |
| 問6 | 答え 富国強兵 | 富国強兵とは、産業を育成して経済を豊かにし（富国）、軍備を拡張して防衛力を高める（強兵）という政策です。殖産興業による工場の建設や、徴兵令による軍隊の近代化がこの方針の下で進められました。 |
| 問7 | 答え 王政復古の大号令 | 1867年12月、薩長などの倒幕派が天皇の権威を背景に発したのが「王政復古の大号令」です。これにより、將軍職の廃止と天皇中心の新政府の樹立が宣言され、徳川家による支配が完全に終わりました。 |
| 問8 | 答え 旧幕府軍 | 榎本武揚や土方歳三らが率いる彼らは、最新の兵器を備え、西洋式の城郭である五稜郭に立てこもって激しく戦いました。しかし、物量に勝る新政府軍に包囲され、力尽きて降伏しました。 |
| 問9 | 答え 1869年 | 1869年、薩摩・長州・土佐・肥後の四藩主らが主導し、版籍奉還が行われました。これにより、藩主は藩知事に任命されましたが、領地と領民の支配権を天皇（政府）に返上することとなりました。 |
| 問10 | 答え 1871年 | 1871年、明治政府は断固とした姿勢で廃藩置県を断行しました。従来の藩をすべて廃止して県を設置し、中央から知事を派遣することで、国家が直接国民を統治するシステムを確立しました。この改革により、江戸時代から続いた大名による領主制が完全に終わりを迎えました。 |
| 問11 | 答え 1868年 | 1868年、京都近郊の鳥羽・伏見において、新政府軍と旧幕府軍が激突しました。この戦いをきっかけに、日本各地を巻き込む戊辰戦争が本格化しました。当時の近代兵器を備えた新政府軍の勝利により、武力による政治の主導権が新政府側に確定しました。 |
| 問12 | 答え 富国強兵 | 富国強兵は、近代的な産業を育てて税収を増やし、強力な軍隊を持つという政策です。この方針に基づき、地租改正による財源確保や、官営模範工場の設立、徴兵制の実施などが強力に推進されました。 |
| 問13 | 答え 府知事 | 明治政府は東京・京都・大阪などの主要な都市を「府」とし、そこを治める長官として府知事を任命しました。また、その他の地方は「県」とされ、同様の役割を持つ県令が派遣されました。これらは中央政府の命令を地方に伝える行政の末端機関としての機能を持ちました。 |
| 問14 | 答え 公論 | 「公論」とは、五箇条の御誓文の第一条にある「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という言葉に含まれる概念です。これは、特定の支配層だけで物事を決めるのではなく、広く会議を開き、多くの人の意見を聞いて議論を通じて結論を出すという、近代的な民主主義の芽生えを示す方針です。 |
| 問15 | 答え 1872 | 1872年、政府は全国的な学校制度である「学制」を発布しました。この制度により、身分に関わらずすべての子供が教育を受ける機会を得ることを目指しました。 |
| 問16 | 答え 徴兵令 | 1873年に出されたこの法令により、満20歳以上の男子は兵役の義務を負うことになりました。これにより、武士だけが戦う時代は終わり、国民皆兵の体制が整えられました。 |
| 問17 | 答え 大政奉還 | 1867年、江戸幕府第15代将軍・徳川慶喜は、朝廷に対して政権を返上しました。これにより260年以上続いた江戸幕府は終わりを迎えました。慶喜は政権を返上することで、天皇を中心とした新しい政府の中でも自身の政治的地位を維持しようとする狙いもありました。 |
| 問18 | 答え 一揆 | この重い負担に抗議して、全国各地で大規模な一揆が起こりました。政府は、これら社会的な動揺を抑えるために、1877年に地租の税率を3%から2.5%に引き下げる措置をとりました。 |
| 問19 | 答え 徳川慶喜 | 徳川慶喜は、政権を朝廷に返上することで徳川家を中心とした新たな政治体制を築こうと画策し、1867年に大政奉還を断行しました。これにより約260年続いた江戸幕府は終焉を迎えました。 |
| 問20 | 答え 王政復古の大号令 | 1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川將軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。 |
| 問21 | 答え 技術者 | 彼ら技術者は、官営模範工場などで日本の作業員に最新の機械操作や設計技術を教えました。理論だけでなく、実地での教育を行うことで、日本における工業化の基礎を築く役割を果たしました。 |